

愛西の課題に若い知恵を

生徒に市の課題について説明する
市職員を＝愛西市の清林館高で



9月の発表会に向け 清林館高で市が説明

した教室では、市選挙管理委員会の職員が、以前に比べて低下している投票率の現状や、全国で投票率向上に向けて取り組んでいる例を紹介した。

説明を聞いた小野寛介さんは「自分自身もいざれ投票する年齢になる。半分以上の投票率があった方がいいと思うので、これから考えたい」と話した。

今後は現地を視察したり、チームに分かれて企画書にまとめたりする作業をした後、九月に発表会が開かれる。
(吉田幸雄)

愛西市の地域課題解決に取り組むプロジェクトの説明会が十八日、同市の清林館高校であり、文理特進コースなど二年生約百三十人が参加した。

今回は、救急に関する応急手当の普及▽選挙の投票率向上▽ニセ電話詐欺被害の防止▽ごみ減量対策の四つをテーマに、市職員らが生徒に課題の概要を説

明した。

選挙の投票率をテーマに